

補助金評価シート

| | | | | | | | |
|-----------------------|-----------|---|--------------|------|----------|----|-----------|
| 区分 | 重点 (重点以外) | 補助根拠 | 法令補助 ・ その他補助 | 開始時期 | 令和5年4月1日 | 終期 | 令和8年3月31日 |
| 補助事業名 [下段に制度概要を記載] | | 新潟仏壇組合補助金 経済産業省指定の伝統的工芸品「新潟・白根仏壇」の伝統産業の振興を図ることを目的とする同組合に対する補助金 | | | | | |
| 款・項・目 | | 商工費 工業費 工業総務費 | | | | | |
| 所属等 | | 経済部 企業誘致課 電話025-226-1689 | | | | | |

| 年 度 | | 令和5年度(1年目) | 令和6年度(2年目) | 令和7年度(3年目) |
|---------------|--|--|--|---|
| 予算額等の推移 | 予算(千円) | 92 | 92 | 92 |
| | 決算(千円) | 92 | 92 | 92 |
| 補助率 | | 47.0% | 45.8% | 44.7% |
| 目 標 | | 伝統ある新潟の仏壇業の発展のために、各種展示会を開催して普及活動を実施、また講習会や研修会を行い後継者の育成を図る。 <目標が数値でない場合の評価方法> 実績報告書や活動実績などを総合的に判断し評価する。 | | |
| 目標に対する達成度(指標) | 達成率100%以上 | | | |
| | 達成率 80%以上 | | | |
| | 達成率 50%以上 | | | |
| | 達成率 50%未満 | | | |
| | 目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください | 当年度では下記事業を実施。実績報告書や活動実績などから販路拡大および後継者育成の達成度は高いと判断した。 ・ 需要開拓事業 新潟県伝統的工芸品展へ参加、製作体験会の実施 会場：無印良品 直江津店 開催日：令和5年11月18日～19日 | 当年度では下記事業を実施。実績報告書や活動実績などから販路拡大および後継者育成の達成度は高いと判断した。 ・ 需要開拓事業 新潟県伝統的工芸品展へ参加、製作体験会の実施 会場：朱鷺メッセ 開催日：令和6年10月26日～27日 | 当年度では下記事業を実施。実績報告書や活動実績などから販路拡大および後継者育成の達成度は高いと判断した。 ・ 需要開拓事業 新潟県伝統的工芸品展へ参加、製作体験会の実施 会場：新潟日報メディアシップ 開催日：令和8年1月23日～25日 |
| 補助事業者による情報の公表 | | パンフレット等による公表 | | |

| | | | | | |
|---|---------------------------------------|--|---|-----------------------------|---|
| 評価欄 | チェック | a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか | ○ | e. 指標の推移が維持・向上しているか | ○ |
| | | b. 補助率は1/2以内か | ○ | f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか | ○ |
| | | c. 補助額が5万円以上になっているか | ○ | g. 目標は数値化されているか | × |
| | | d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか) | ○ | h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か | ○ |
| | ×になった項目に対する今後の取組 | <a～fにおける取組> <g～hにおける取組> 具体的な目標の数値化はないが、展示会においては展示内容の充実が図られることで入場者数も増加するなど、一定の成果を得られていることから、引き続き実績報告書による総合的な判断としたい。 | | | |
| 目標未達成の原因分析 | <期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> | | | | |
| ① 拡充 ・ 改善 (補助率、補助額、補助対象経費、その他) ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 新潟仏壇組合は、毎年、新潟県伝統工芸品展への参加による他組合との交流や、PR活動を行っており、補助金の活用により「新潟・白根仏壇」の振興を図っていると評価できるため今後も継続する。 | | | | | |